

2018

1

January Vol.22

JAしまねびより

特集 島根のいいもの再発見!! 「松江市 キャベツ」 くびき地区本部

来月の
外勤日は

2月17日(土)



Xaomichi

雪の松江城



謹んで新春の

お慶びと

申し上げます

新年あけましておめでとうござい
ます。

組合員のみなさまには、新しい年を穏
やかに迎えることとお慶び申し上げま
す。

おかげさまでJAしまねは統合後3回
目の新年を迎えることとなりました。

これもひとえに組合員のみなさまをは
じめ、地域のみなさまのご理解とご協力
の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、「農業者の所
得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性
化」を最重点課題として、各事業や取り
組みにおける自己改革と統合メリットの

創出に取り組んでまいりました。

営農関係では農業振興支援事業、生産
資材の価格低減、米の買取制度をはじめ
販売対策強化、TAC（地域農業の担い
手に向くJA担当者）による営農情報
提供や記帳代行、認定農業者支援資金な
どの担い手支援に取り組み、また、地域
の活性化としては、業績還元の実施と地
域活動への活用、地域貢献・地域活性化
に取り組まれた団体の表彰と活動資金支
援、女性部活動や子育て支援、地域イベ
ントなどを通じ、地域全体での活性化に
取り組んでまいりました。

さて、本年は「第1次中期経営計画」

代表理事組合長 竹下 正幸

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 松浦 宗和

役職員一同

と「農業戦略実践3カ年計画」の最終年
度にあたります。計画に掲げています「持
続可能な農業の実現」や「豊かであらうし
やすい地域社会の実現」「地域に根差し
た協同組合の役割発揮」に向け、総仕上
げの年として、更に実践をすすめてまい
ります。

計画を完遂するためには、JA事業・
組織にかかる自己改革の実践が不可欠で
ありますが、「組合員のみなさまのお役
に立てているのか」「組合員のみなさま
から求められているサービスを提供でき
ているのか」「組合員のための改革で自
分は何ができるのか」を役職員一人ひと

りが真剣に向き合い常に考え、広い視野と新しい発想、そして改革していく意識を持つことが重要であり、そうした取り組みを一つ一つ実践に移していくことが自己改革であると思います。

組合員や地域住民のみなさまのご期待に応え、JAの健全経営と更なる事業改革・組織改革をすすめていくため、担い手農家をはじめ組合員のみなさまとの話し合いをより活発なものにし、忌憚のないご意見を聴かせていただき、みなさまの声を事業や取り組みに活かし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」につながる自己改革の一つでも多く実践し、JAは変わったなと言ってもらえるよう取り組んでまいります。

今後も、みなさまから選ばれ、信頼され、ご利用いただけるJAに向けて、役員が一体となり取り組みを行ってまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

組合員・地域のみなさまにとって本年が幸多い一年でありますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成三十年一月

代表理事組合長 竹下 正幸

自己改革実践中

「自己改革の実現」を発行しました

JAしまねでは、統合時より統合メリットの発揮に併せて自己改革の実現に取り組んでいます。その実践状況についてみなさまにお知らせするため、取り組み状況をまとめた冊子「自己改革の実現」を昨年7月に発行致しました。

正組合員のみなさまのお宅を中心に配布させていただきますが、支店窓口にも冊子を備え置いていますので、是非ご覧いただけますようお願い致します。
(冊子の内容は当JAのホームページにも掲載しています)



みなさまのご意見・ご要望を聞かせください

担い手の方が参加される集会や認定農業者の方のご自宅等に当組合の役員がお伺いし、JAへのご意見やご要望をお聴きする機会を昨年11月より順次、増やしています。協同組合は組合員のみなさまが主役で

す。組合員のみなさまからいただいた意見を事業運営につなげるよう、これまで以上に努力して参りますので、ぜひとも忌憚のないご意見をお願い致します。

自己改革に関する調査(アンケート)へのご協力をお願いします

JAしまねでは、現在取り組んでいる自己改革の内容についてみなさまのご意見をお伺いしたく、3月に自己改革に関する調査(アンケート)を実施させていただきました。今回の調査は、無作為で選ばせていただいた方に回答をお願いする予定です。対象となった組合員のみなさまにおかれては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い致します。

JAしまねでは、より一層、組合員のみなさまの期待に応え、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAとなるよう、今後アンケートの実施や集会等を通して、みなさまの声を聴き取る機会を増やして参ります。引き続きJAの事業、活動へのご理解、ご協力を何卒お願い致します。

※12月に郵送で実施させていただいた「組合員アンケート」とは別のアンケートです。本アンケートは、3月に職員の見聞により実施させていただきます。

新年のごあいさつ



斐川地区本部 常務理事 本部長

山根 善治

新年あけましておめでとございます。

組合員の皆さまにおかれましては、清々しい平成30年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、斐川地区本部の事業活動に、格別のご理解とご協力を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。

さて、いよいよ今年から新しい米政策の始まりです。斐川地域においては生産目安を置いて今までの取り組みを継続いたしますが、構築してきた需給バランスが崩れれば米価の下落を招くのでは、という生産者の不安解消のため、民間主体の生産調整を促す「全国農業再生推進機構」が発足したところです。近年、斐川地域においては、農地集積が進み、集中的に農業が展開されてきましたが、土地持ち非農家さんの拡大が逆に農業生産基盤であるはずの地域内の協同意識の希薄化を招きつつあるように思います。次世代に残すものの優先順位をつけながら地域の維持を図ることもJAの役割ではないか。その思いのもと、昨年から取り組んできた「学びの広場」はおかげさまで好評を頂き、今年は「次世代農業」や「相続」等をテーマに取り組んでいきたいと思っておりますので、

ぜひご参加をお願いいたします。

また、今年グリーンセンターの改修を計画いたしております。1月より仮店舗営業でご迷惑をおかけいたしますが、3月の彼岸前にオープンの予定ですのでご期待いただけますようお願いいたします。併せて、新しい情報発信の場として料理教室の改修も計画しております。料理をはじめ各種集会にご利用頂ける、皆が集え、憩える施設にしたいと考えておりますので女性部さんをはじめ各種活動の拠点としてご利用いただければと思います。

JAに対する評価が大変厳しい中、今、自己改革に取り組んでおります。これは農協改革のもと、JAが地域にとって必要かどうか大きな試金石となる取り組みと位置づけ、役員一丸となって組合員および地域住民に貢献するJAづくりに取り組んでまいりますので、更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が組合員の皆さま方にとりまして、ご健勝で幸多き年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

全役員 「JA自己改革」研修

12月22日、JAしまね斐川地区本部では全役員と地区運営委員176人を対象としたJA自己改革について、講師に龍谷大学農学部石田正昭教授を迎え研修会を開きました。あいさつの中で山根善治本部長が「研修を通してJAと組合員との繋がりを強めていくのに役立てて欲しい」と話しました。石田教授は「JAを活かす改革」とし協同組合として組合員とのコミュニケーションの場をもち、人的繋がりを固める必要があると強調しました。組合員に対する責任とJAとしての意識統一を改めて学ぶ機会となりました。



集落営農の広域連携組織が設立されました!!

12月8日に、斐川南部集落営農組織連絡会議（農神庭谷農産、農たけべの郷、結地区営農組合、農ひむろの郷）、12月14日には、久木地区集落営農組織連絡会議（農相場ファーム、農くらしまファーム、農ファーム十六夜、農ふくどみ、島田営農組合、農めぐみの郷東北、農ファーム南、農宮西、農あかつきファーム今在家）の設立総会が開催され、集落営農組織の連携が始まりました。

今後、農業収入の減少、従事者の高齢化、後継者不足等の集落営農組織を取り巻く諸課題に対し、各構成組織が連携し、集落営農を将来にわたり継承するとともに、魅力ある地域農業の展開に向けて取り組まれます。



斐川南部集落営農組織連絡会議



久木地区集落営農組織

ご来店感謝デーを開催

12月15日、JAしまね斐川地区本部では「ご来店感謝デー」を実施し、各支店では来店された組合員や地域の方々に記念品を呈呈するなどのサービスを行いました。

出東支店では、中酪製品や斐川女性部出東支部の皆さんによる250食分の豚汁サービスがされ、待ち時間に食べることで、来店された皆様に喜んでいただくことが出来ました。他の支店ではしじみや餅、中酪製品の詰め合わせ配布や、ぜんざいを振舞うなどのサービスを行いました。今回のご来店感謝デーはJAしまねの統一企画として実施し、地区本部ごとに様々な企画が実施されました。



農青連盟と女性部が協力して園児と花の苗植え挑戦!

12月18日、JA斐川青年連盟と女性部の部員が直江保育所と東部保育園を訪問し、園児と一緒に花の苗植えを行いました。この活動は、園児が土と植物にふれあうことを目的に毎年行っているもので、今年は色とりどりのビオラとパンジーを各80本用意しプランター40個に植えま

した。時折り雪が降り気温が低い中での作業になりましたが、園児たちは寒さに負けることなく興味津々に青年連盟の古川敬委員長の話聞き、友達同士で「もっとやさしく植えないと!」「上手に植えることができたよ!」と協力したり自慢しあったりする姿を見ることが出来ました。

今後花の管理は園児たちが行うことになりま



災害に備え防災講習会開催

12月20日、JAしまね斐川地区本部では防災訓練の一環として、水防活動に関わる基本知識について講習を受けました。講師には久木地区の江角俊明さんを迎え、各施設の代表となる職員が参加しました。災害が起

こった場合に斐川地区本部としても復興作業に携わる可能性もあるということで、土嚢の作り方と積み方、ロープの結び方について手ほどきを受け実践しました。参加した職員は江角さんの指導に真剣に耳を傾け、ロープの結び方などをお互いに教えあう姿も見られました。江角さんは「いざという時にJAとして手助けをする可能性がある中で、地区本部でも職員に防災知識を身につけて欲しい」と話されました。



ミニ門松 しめ縄作り

12月23日、JAしまね斐川女性部中部支部は、営農総合センターで正月飾り作りの講習会を開きました。講師に久木地区の江角俊明さんを迎え、女性部員15名と事務局が参加し、ミニ門松としめ縄を作りました。ミニ門松作りでは、竹の器に砂を詰め、3本1組にした小さな竹を立て、葉牡丹を紅白に見立て松やナンテンと一緒にバランスよく飾りました。しめ縄作りでは、縄を編むのに悪戦苦闘しながらも互いに教えあいながら談笑し、個性豊かで多様なしめ縄が出来上がりました。作った正月飾りは持ち帰り、年神様を迎え、無病息災を願い、各家庭の玄関などに飾られました。





島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【松江市 キャベツ】

1月は、くにびき地区本部。松江市東出雲町で、新規就農し、キャベツを栽培する高松和範さん、JALしまね中海干拓事業所の小室陽二所長のお二人にお話しをお伺いしてきました。



高松和範さん

新規就農したきっかけを教えてください。

高松さん 大学を卒業しNP

O法人で働いていた時、農業に接する機会がありました。広大な土地でたくさん野菜を生産するのに魅かれ、転職を決意。JAさんと松江市が行っていた「だんだん営農塾」に参加し、東出雲町の中海干拓地で盛んに生産されている、通称「くにびきキャベツ」の栽培をはじめることになりました。地元の農業士の野津一修さん・松田純一さんに師事し、研修と並行して2年間、現場で経験を積みながら学びました。その後独立し、今年で4年目になります。7〜9月頃に苗を定植して、収穫はおもに10月から翌年6月頃まで行っています。1年目



真剣な眼差しが、高松さんの熱い想いを物語っていました

は1.8ヘクタールの面積で生産を始め、現在は3ヘクタールまで栽培面積を増やしています。

くにびきキャベツとはどのようなものですか？

小室さん 松江地区でのキャベツ栽培はほとんど、この中海干拓地の掛屋工区で栽培されています。全体の作付面積は約37ヘクタールで、2016年は秋の長雨等の影響もあり、例年より少ない、730トン出荷しました。年間の目標出荷量は、多い時の実績と同じ、1,000トン以上を目標にしています。営農当初は栽培面積を拡大しても生育が不安定な時もありま



広大な農地で栽培されるくにびきキャベツはこれから最盛期を迎える



中海干拓事業所にある集荷場から市場へ



した。そのため、定植後の生育にに応じて作型ごとの農薬散布を行う設定になっていた防除暦を、秋冬キャベツの全作型・全品種で一度に防除できるように「一斉防除方式」に改めました。適期に一斉効果のある薬剤によって一斉防除するので、結果的に防除回数も減少。害虫防除を効果的に防ぐことができるようになりました。また、高い安全性と

優れた品質を兼ね備えた産品を認定する「美味しまね認証」を生産者全員が取得。大阪を中心に出荷していますが、品質にこだわった結果、おかげさまで関西を中心に「島根キャベツ」ブランドとして高い評価をいただいています。

干拓地での営農開始から約30年が経過していますが、何か課題はありますか？

小室さん 地区管内全体の農地と同様に、営農者の高齢化等の要因もあり、作付休閑地が依然として見受けられます。松江・八束くにびきキャベツ部会の会員は現在46人、平均年齢はざっと65歳です。そこで松江市と共同で新規就農者の確保に取り組んでおり、後継者育成のための今年で6期目となる「だんだん営農塾」事業を行っています。卒業生である高松さんのような若い30代前後の新規就農者が面積拡大を図っているの、なんとか現状を維持しているところ。高松さんのような新規就農者が増えて欲しいと、努力を続けているところです。



「雪が降ろうが!」という高松さんのような存在が心強い

就農された感想と今後の抱負を聞かせてください。

高松さん 広大な畑で、専用包丁を使って1個1個、手作業でキャベツの根元を切り落とし収穫します。何千、何万个とあり、ひたすら同じ作業を続けなければなりません。

松江市 キャベツ 一口メモ

中海干拓事業は昭和38年から行われ、旧八束郡東出雲町と松江市意宇町からなる揖屋工区は平成元年度に完了した。地区面積は323ヘクタールで、そのうち農地面積は202ヘクタール。栽培品目で規模が大きいものは、牧草約38ヘクタール、キャベツ約37ヘクタール、津田かぶ約9ヘクタールとなっている。このほか、作付け準備状態のほ場が約20ヘクタール、作付け休閑状態のほ場は約34ヘクタールあり、地区内農地の30パーセント弱で、担い手が不足している状態。高松さんのような新規就農者を増やす努力をJAしまねや行政が一丸となって続けている。年間を通じて美味しいキャベツ作りにこだわっており、適度に歯ごたえがあって、みずみずしさに優れた干拓地のキャベツが「島根キャベツ」として関西を中心に高い評価を得ている。

また、「くにびきキャベツ」は「美味しまね認証」を取得していることにより2020年オリンピックで使用することも可能な野菜である。



出荷のピークを迎え、規模拡大を念頭にした高松さんの毎日の戦いが続く



作業自体は単調な仕事ですが、農業をするのが好きなので、単調な仕事でも頑張っています。

いけます。また、周りにキャベツを作っている人がたくさんいるので、困った時には相談できるのが、新規就農をするにあたって心強く感じました。研修時代に大変お世話になった師匠の栽培規模は、はるかに大きい。当面は現状の面積を維持しながら、機会を見て規模を拡大し、いつの日か師匠に追いつければと思います。

雲南

ブランド米振興大会 生産者ら意欲高める

雲南市水田農業担い手協議会が主催する「平成29年度雲南市ブランド米振興大会」が12月6日、同市木次町のチェリヴァホールで開かれ、生産者や関係者ら約70人が参加。つや姫生産の研修や優良生産者の表彰を行いました。

平成29年度優良生産者表彰では、田中政明さん（大東町）と農事組合法人春石（大東町）が選ばれ、さらに田中さんは雲南市長杯を、農事組合法人春石は、JAしまね雲南地区本部長杯を受賞しました。

平成28年産米からブランド米として取り組みを始めた雲南市プレミアムつや姫「たたら焔米」は、一定の要件を満たしたワンランク上のつや姫として、市とJAが認定したお米。

作付面積や生産者も増えた中で2年目を迎え、同協議会の渡部彰夫会長は「雲南市のブランド米が全国に広まるよう、皆様方と苦難を乗り越え取り組んでいきたい」と話しました。



左から速水市長、田中さん、渡部会長、農事組合法人春石、加藤本部長

くにびき

くにびき女子大 玄丹そばでそば打ち

くにびきサンサン女子大は12月2日、教育文化センターSan・san館で、松江市特産の「玄丹そば」を使ったそば打ち体験講座を開催しました。32人の学生が参加し、玄丹そばのおいしさを体感しました。



当日は、地元のそば打ち名人・細田純夫さん（松江市玉湯町）を講師に招き、そば打ちに挑戦。細田さんから「水加減に注意してこねて」「円盤状に広げながらのぼすように」などと実演つきのアドバイスを受けながら、真剣な表情でそばを打ちました。

講座終盤には、細田さんによる打ちたてのそばを全員で試食。「普段食べているそばより香りがよくておいしかった。自分で打ったそばを家で食べるのが楽しみ」などと感想を話しました。



そばをこねる学生

隠岐

来店感謝デーを実施

隠岐地区本部は12月15日、管内4か所の支店窓口で、日頃のご愛顧に対する感謝をこめて、「隠岐地区本部 来店感謝デー」を開催しました。イベントの開催にあたって、事前にチラシ配布を各支店窓口等で行い、当日には通常来店人数の2倍近くのたくさんの利用者の方にご来店いただきました。

ご来店いただいた方にはクジ引きをしていただき、「冬の風邪予防対策」をコンセプトとした「加湿器」「自動ハンドソープ機」など関連グッズのプレゼントをしました。来店者からは「いつも楽しみにしているよ」「来てよかったわ」など言っていました。



やすぎ

やすぎのエコ白ネギをアピール

やすぎ白ネギ部会は12月2日、雲南市のみしまや三刀屋店で安来のエコ白ネギの販売イベントを行いました。エコ白ネギは、通常の栽培に比べて化学肥料を県基準の半分にしている栽培しており、環境に優しいのが特徴で、今回のイベントでは100束を販売しました。

また美味しいエコ白ネギを実際に味わってもらおうと、エコ白ネギを50本使用した白ネギ豚汁を無料配布し美味しさをアピールしました。試食した方は「ネギが甘くてすごく美味しい!買って帰るわ!」と好評でした。同部会の山本進部会長は「今後もイベントなどを通じて、安来のエコ白ネギをアピールしていきたい」と意気込みを語りました。



新鮮なエコ白ネギ



販売、試食の様子

斐川

あぐり探検隊 餅つき・そば打ちを体験

斐川地区本部は12月10日、斐川営農総合センターで、農業体験活動「第5回あぐり探検隊」を開きました。今回の活動では、餅つきとそば打ち体験を行いました。

餅つきでは、隊員が田植え、稲刈りを自ら行ったもち米を使用。事務局とJA斐川女性部の指導により、臼と杵を使って餅つきを行い、隊員たちは楽しそうに力強く杵を振り下ろしていました。

そば打ちでは、荘原地区の高橋義孝さんと糸賀充さんの指導の下、斐川産のそば粉を使用し、隊員たちは真剣にそば打ちを体験しました。

JAでは次年度以降もあぐり探検隊などの活動を通して子どもたちに食と農について学ぶ機会を提供していきます。



隠岐 どうぜん

隠岐島前農政会議が発足

隠岐島前農政会議は11月20日、海士町マリンポートホテルで設立総会を開きました。隠岐どうぜん地区本部が中心となり設立に向けて準備を進め、同日発足しました。

発足式の冒頭で新谷徳昭本部長が設立趣意書を読み上げ、農業者の自主自立な組織として、JAグループと連携して農業・農村の振興を図り、一致団結して相互研鑽と情報の共有など、県内および全国の仲間とともに農政運動を展開していくことを確認しました。

当日は島根県農政会議の石倉茂美会長を来賓に招き、祝辞をいただきました。石倉会長は、当地区本部での発足により島根県全域で農政会議が組織されたことを喜びとともに、その意義について話しました。

総会では同会議の規約の他、活動計画や収支予算案などが承認され、会長に西ノ島町の口村光房さん、副会長に知夫村の向濱樽幸さんが選任されました。また、委員2人、監事2人が初代役員として選出されました。



選出された初代役員（左から、口村会長、南敬二監事、板谷栄一委員、村上良夫監事、美濃芳樹委員）

石見銀山

オリジナルカレンダー完成

石見銀山地区本部は12月20日、オリジナルカレンダーを発行し、JA職員が「ふれあいの日」に、管内組合員宅へ配布しました。同地区本部オリジナルカレンダーは、毎年発行しています。

2018年版は、大田市仁摩町の「琴ヶ浜」がテーマ。今年の10月13日に、国の天然記念物に指定告示されたことを記念して制作しました。琴ヶ浜海岸の他、江戸時代から現在まで受け継がれている同町宅野地区の「宅野子ども神楽」や世界最大の砂時計「砂暦」が設置されている「仁摩サンドミュージアム」、左官職人が民家や土蔵の壁に漆喰を使って施した造形物「鏝絵」など同町の伝統文化や名所の写真が各月を飾ります。

地元写真家や市、県の観光協会などの協力を得ながら完成しました。



琴ヶ浜が表紙を飾るJAオリジナルカレンダー

出雲

JAしまね出雲しいたけ部会 年末講習会開催

JAしまね出雲しいたけ部会は12月5日、島根ワイナリーで年末講習会を開催しました。部会員、行政関係者、JA役職員ら約53人が出席。市場情勢や今年の出荷状況を確認したほか、年末に需要のピークを迎えるにあたって、株式会社北研から講師を招き、水管理や温度管理など栽培方法について講習を受けました。

同部会の栽培する菌床生しいたけ「神々の国 出雲しいたけ」は肉厚で市場からの人気も高く、当日出席した各市場関係者は「年末の需要期にたくさん出荷してもらいたい」と要請しました。

同部会では、島根県独自のGAP制度「美味しまね認証」の取得に部員一丸となって取り組んでおり、11月には島根県・JAの担当者らが部会員65戸を巡回し現場改善を行うなど、同認証の団体取得に向け大詰めを迎えています。同部会の三島茂部会長は「競争も激しい中、認証取得で安全・安心をPRできることは大きな強みになります。一人も乗り遅れることなく、『美味しまね認証』の列車に乗ってもらいたい」と呼びかけました。



認証取得に向け気運を高める三島部会長

西いわみ

農業青年クラブが「わんぱくらんど」収穫祭を開催

津和野町農業青年クラブ（会長石橋康邦）は12月8日、同町後田の津和野町町民センターで「わんぱくらんど」の収穫祭を開きました。

田植えや稲刈りなどの農作業を通して、農業に親しんでもらい食べ物の大切さを学んでもらおうと平成9年から始めた「わんぱくらんど」は今年が21回目となります。

当日は、同町田二穂地区の水田で園児らが春に植え、秋に刈り取ったもち米「ヤシロモチ」を使い餅つきをして収穫を祝いました。



島根おおち

ドライブレコーダーで安心・安全に貢献

島根おおち地区本部は12月13日、管内の安心・安全に寄与することを目的として、公用車に設置したドライブレコーダー等の記録データを提供するための協定を川本警察署と締結しました。

協定締結式は川本警察署で行われ、生活安全刑事課の足立大樹課長が協定内容の説明をした後、同署の坂根英明署長と同地区本部の日高光弘本部長が協定書へ署名調印しました。

同地区本部では、社会貢献や役職員の交通安全に対する意識の向上を目的として、公用車にドライブレコーダーを設置しました。公用車は約120台あり、12月から順次設置して今年度は50台に設置しました。残りの公用車については、来年度以降に計画的に設置していく予定です。

今後、ドライブレコーダー等の記録データを捜査情報等として提供することで交通事故の抑止、事件事故の捜査活動、災害に対する危機管理等に活用し、管内地域住民の生活の安全、安心に寄与することを目指していきます。



本店

第19回島根県家の光大会を開催

JALまねとJALまね女性部は12月6日、出雲市のラピタウェディングパレスで第19回県家の光大会ならびにJALまね女性部研修会を開き、家の光愛読者や女性部員など約170人が参加しました。

くにびき、雲南、出雲の各地区本部の愛読者による記事活用体験発表では、「輝く～私たちのえんまん座～」と題して、『家の光』への掲載をきっかけにメンバー拡大などに取組んだことを発表した出雲地区本部の飯國恵美子さんが最優秀賞に選ばれました。飯國さんは来年2月に横浜で開催される全国家の光大会に県代表として出場します。

また、研修会では、NPO法人コミュニティスクール・まちデザインの近藤恵津子理事長が「食の安心・安全について～食品添加物と表示について～」と題して講演しました。



表彰状を受ける飯國さん（右）と、表彰状を読み上げるJALまね山根盛治副組合長

いわみ中央

消費者交流会 冬野菜を使ってキムチ作りを学ぶ

いわみ中央地区本部は浜田市黒川町のふれあいホールで12月5日、浜田市と共催で産直交流会を開き、市内から29人が参加しました。

講師に浜田市弥栄町在住の朴銀環さんをお招きし、旬の野菜である地元産の白菜、大根を使った白菜キムチ、大根キムチ作りの実演を交えた講義を行いました。実演では、白菜の塩漬の行程や大根を均等に切る方法など、事前準備の大切さなどの説明を受けました。

参加者は、「説明がとても丁寧で分かり易くて良かった。次回もこのような講習会が開催されれば是非参加したい」と話しました。



白菜キムチ



大根キムチ

平成29年度 西部地区子牛共進会を開催



10月27日に西部家畜市場で開催し、西部地区（いわみ中央地区本部・西いわみ地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛16頭の出品がありました。

当日は秋晴れの中、審査員の厳密な審査により、最優秀賞には、益田市「田原 正太」さん出品牛「はな2号」が選ばれました。

審査風景



個体審査

比較審査

●西部地区子牛共進会授賞目録

区分	番号	住所	氏名	区分	番号	住所	氏名	
最優秀賞	9	益田市	田原 正太	首席	1	益田市	伊藤 宣男	
優秀賞	15	益田市	佐々木恵美	優良賞	4	津和野町	石川 公芳	
	13	益田市	田原 武吉		6	浜田市	長田 長正	
	3	浜田市	佐々木祥二		7	益田市	河野 将樹	
	16	津和野町	京村 真光		8	益田市	衛中島ファーム	
	11	浜田市	藤本 邦弘		12	益田市	橋本 政喜	
	10	浜田市	佐々木祥二		14	津和野町	京村 真光	
	2	浜田市	樋口 誠二					
	5	益田市	澤江 寛美					

平成29年度 島根中央子牛共進会を開催



11月10日に島根中央家畜市場で開催し、東部地域（くにびき地区本部・やすぎ地区本部・雲南地区本部・斐川地区本部・出雲地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛40頭の出品がありました。

今年度は、秋晴れの下、皆様のご協力もあり全課程を野外審査場で行うことができました。

成績につきましては、各区の優秀賞首席に1区 奥出雲町「佐藤 治巳」さん出品牛「かつざくら号」、2区 安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が授賞され、グランドチャンピオンには、2区、安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が選ばれました。

各受賞結果は右記のとおりです。

審査風景



●島根中央子牛共進会授賞目録

	出品№	第1区			第2区		
		住所	氏名	出品№	住所	氏名	
島根県農業協同組合長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
	(各区:次席) 19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町	新宮 茂	
	(各区:3席) 20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市	渡部 学	
	(各区:4席) 6	奥出雲町	勝田 律江	34	奥出雲町	松浦 雅子	
	(各区:5席) 17	出雲市	杉山 利夫	38	雲南市	高島 幹雄	
島根県知事賞	グランドチャンピオン				31	安来市	田辺 和正
島根県家畜畜産組合理事長賞	グランドチャンピオン				31	安来市	田辺 和正
島根県家畜人工授精師協会会長賞	グランドチャンピオン				31	安来市	田辺 和正
全国和牛登録協会島根県支部長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
島根県畜産振興協会会長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
J A西日本くみあい飼料株式会社社長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
島根県農業共済組合連合会長賞	(各区:次席) 19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町	新宮 茂	
島根県獣医師会長賞	(各区:3席) 20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市	渡部 学	

支店窓口（金融共済等）の営業開始時間変更について（お知らせ）

支店窓口（金融共済等）の営業時間

平成30年3月30日まで

午前8時30分～午後3時00分
（一部支店で開店・閉店時間が異なります）



平成30年4月2日より

午前8時45分～午後3時00分

（一部支店で開店・閉店時間が異なりますので、ご利用の支店のお知らせを御覧ください）

支店窓口（金融共済等）の営業時間開始につきまして、上記のとおり変更させていただきます。組合員・利用者の皆様にはご不便をお掛けしますが、今後とも一層のサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

両替手数料改定のお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

平成30年4月2日から、**両替手数料を改定**させていただきます。

今後とも、当JAでは、組合員・地域利用者の皆さまにご満足いただき信頼される地域金融機関として、サービスの充実を図ってまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

◎両替手数料（改定後）

お取扱枚数	窓口手数料（消費税込）
1～49枚	無料
50～500枚	324円
501～1,000枚	648円
1,001～1,500枚	972円
以降500枚ごと	324円加算

◇有料となる両替には、新札への両替、現金のお引き出しの際に、新札および金種をご指定される場合を含みます。
◇お取扱枚数は、ご持参（両替前）の枚数、お持ち帰り（両替後）の枚数のいずれか多い枚数が基準となります
◇大量の硬貨により貯金をご入金される場合には、両替手数料をいただきます。
◇両替・金種指定払出・大量硬貨入金のうち、複数種類の取引をされる場合は、いずれか枚数の多い取引で手数料をいただきます。
◇同種類の取引を複数される場合は、合計枚数の手数料をいただきます。
◇汚損現金・記念硬貨の交換は無料です。



営農第一課から TEL 73-9616

水稲

土づくりについて

こんな土は赤信号！

- ・作土が浅く、土が硬くなっている。
- ・排水・透水性が悪い。
- ・毎年収量が上がらない。収量変動しやすい。
- ・秋落ちを起しやすい。
- ・ごま葉枯病等の病害を起しやすい。

土づくりは異常気象に負けない米づくりには必要不可欠です。近年、秋落田(ごま葉枯病の発生)が多く散見されます。これは、地力(主に鉄分・けい酸)の低下が主な原因で発生します。また、土づくりを実施された圃場では1等米が多い傾向となることから、土づくりを実施しましょう。

○ミネラルG：200～300kg/10a

けい酸・鉄分・苦土・りん酸・その他有用ミネラルを補給

○牛糞堆肥：1t～2t/10a

保肥力・保水力を高め、生産力の安定と強化、地力向上を図る。
※牛糞堆肥は運用することにより効果は高まります。

耕耘については、できるだけ深耕を心掛けるようにしてください。作土層が深いと養分貯蔵量が多くなり、気象に左右されにくい効果があります。ただし、1度に深耕すると上層の富んだ土が攪拌されることになるので、徐々に深くするように行ってください。

○アグリ革命：1000ml/10a(液剤) 2kg/10a(粒剤)

稲わら腐熟促進、酵素の力で分解、うきワラ・ガスわきの減少。
田植え1ヶ月前まで散布できます。

アグリ革命とミネラルGを一緒に使用することで効果的に地力の維持、向上が行えます。(アグリ革命を使用した圃場で耕耘する際は、浅く行うことより効果的です。)

用語説明

○秋落水田とは？

水稲の生育過程において、生育前期の生育は旺盛にもかかわらず、後期に生育不良となって、下葉の枯れ上がりが多くなり、ごま葉枯れの斑点を生じ、穂も小さく収量が上がらない現象の水田を言います。

大麦

◆生育前半は例年に比べ気温が低く推移したことから、生育はゆっくり進んでいる状況です。葉色が淡い圃場もありましたが、分げつ肥の施用により全体的に葉色もやや濃く、分げつも多いところでは3～4本確認出来ています。まもなく幼穂形成期を迎えます。効果的な穂肥のため、作業計画・排水対策を徹底しましょう。

◆穂肥の施用

左記の点に注意し穂肥をしましょう。

◆施用時期の目安

幼穂長5～8mm(2月中旬～2月下旬)

天候によって生育が大きく左右されます。

幼穂長を確認し穂肥を行ってください。

○施用量

圃場全体の葉色が濃く、分げつが十分確保されている場合

① 硫安入NP化成 15kg/10a

圃場全体の葉色が淡く、分げつが確保されていない場合(播種深度が深い、湿害を受けている場合)

① 早急に硫安入NP化成 10kg/10a

② 幼穂長が2～5mmの時期に硫安入NP化成 10kg/10a

◆排水対策の徹底について

排水対策は大麦を栽培する上で基本的かつ最重要なことで、すので左記を参考に排水を万全にしてください。

排水の点検・手直しのポイントについて確認してください。

□ 停滞水はないか？(雪解けの水は特に滞水しやすいので注意！)

□ 排水溝が土で埋まっているか？

□ 排水溝から排水しているか？

排水対策が不十分のまま穂肥を施用しても根が痛んでいるため、肥料を十分に吸収することができません。

29年産共同乾燥施設の玄米重量確定(単位:kg)

品 種	生籾重量	推定精選籾重量	推定玄米重量	確定玄米重量
ハナエチゼン	382,241	271,026	216,805	232,260
コシヒカリ	238,627	179,736	143,778	145,530
きぬむすめ	3,525,039	2,682,978	2,146,243	2,236,380
つや姫	1,946,267	1,438,829	1,150,996	1,198,800
合 計	6,092,174	4,572,569	3,657,822	3,812,970

あいがも農法米を除く

◆確定売渡玄米重量 = 確定玄米重量 - 飯用米重量

推定玄米重量で概算払処理をしていますが、確定増量処理後の確定売渡玄米重量に対して、差額を調整払しております。

29年産島根米の追加確定金について

平成29年12月25日開催のJAしまね理事会において、下記のとおり買取金の追加確定金単価が決定しました。(単位:円(税込)/60kg)

品種・銘柄	1～3等
コシヒカリ	400
きぬむすめ	400
つや姫ST(特別栽培米)	400
ハナエチゼン	400
もち米(契約もち、その他もちも同額)	60
五百万石	300

※コシヒカリ、きぬむすめ、つや姫の上区分も同額。
※うるち米はJA米を基準とし、一般米は一律100円。
○追加確定金振込日 平成29年12月28日(木)

平成27年産島根米の最終精算結果について

平成27年産の最終精算について、下記の通り共同計算結果をお知らせいたします。

●平成27年産米の概況

・全国作況 100 島根県作況 98 (出雲地帯 98 石見地帯 99)

◎一等米比率(倉庫出荷)

ハナエチゼン 94.1% コシヒカリ 33.1% きぬむすめ60.9% つや姫78.2%

平成27年産米共同計算概要表

《単位：円/60kg 税込》

産地		島根	斐川町	斐川町		
銘柄		全銘柄県域共計	地区本部販売	カントリー確定 売渡差・その他		
費目	収入	販売代金	12,780 (運賃込価格)	11,670 (置場渡価格)	12,432	
		その他収入	22	0	0	
		合計 A	12,802	11,670	12,432	
	支出	概算金償還 B	10,145	9,298	0	
		必要経費合計 C	837	551	225	
		内訳	流通・保管等に係わる経費	683	326	83
			生産・集荷・販売等に係る経費	94	69	0
			手数料	32	0	0
			その他支出	28	156	142
		JA手数料・入出庫料等 G	661	664	604	
合計 D=B+C+G	11,643	10,513	829			
収入－支出 E=A-D	1,159	1,156	11,603			
翌期繰越 F	0	0	0			

生産者向け追加精算額 H = E - F	1,159	1,156	11,603
----------------------	-------	-------	--------

生産者手取り額(計算値) I = B + H	11,304	10,454	11,603
------------------------	--------	--------	--------

補足事項

- 金額は全銘柄、全等級(3等以上)の平均単価です。
- 四捨五入のため内訳と合計が合わない場合があります。
- 県域共計については、全銘柄平均の60kg当りであり、JA直売は、三菱商事向けコシヒカリ・きぬむすめ、学校給食米、生産者向け供給分等です。
- カントリー確定売渡差とは、施設出荷による確定売渡玄米重量と最終的な実販売玄米重量との重量差の事であり、平成27年産米においては、概ね0.27%程度の増量が出ています。
- 販売代金における、置場渡価格とは、買手が輸送運賃経費を負担します。

近年の全銘柄平均(県域共計)の最終精算結果の推移

《単位：円/60kg 税込》

年産	販売代金等収入合計	県域共計に係る必要経費	JA手数料・入出庫料等	生産者手取り額(計算値)
27年産	12,802	837	661	11,304
26年産	11,482	1,087	660	9,735
25年産	14,102	1,726	527	11,848
24年産	16,213	1,123	548	14,541
23年産	14,845	866	508	13,471

- 上記は、四捨五入処理しているため、収入から必要経費を差し引いた生産者手取り額が合わない場合があります。
- 平成24年産には、米穀共同計算積立金取崩額が含まれています。
- 県域共計に係る必要経費には、翌期繰越を含めています。

平成27年産米精算金の振込みについて

生産者の皆様へ

27年産島根米の最終精算を実施し、生産者の皆様には平成29年12月27日に振込みいたしました。これまでの共同計算での最終精算による端額については、翌年共同計算に繰り越しをしてきましたが、JAしまねは28年産島根米から「買取」手法による集荷・販売に移行しました。よって27年産島根米の最終精算時における端額28,903円については繰り越すことが出来ないため「食農教育・営農改善費・産米改良経費等」に充当させて頂きますのでご理解願います。

使わなくなった農薬の有料回収を実施します

回収日時 平成30年**1月30日(火)** 午前9時～11時 ※時間外の回収はいたしません

回収場所 JAしまね斐川地区本部出東倉庫（出東支店東側）

回収料金 1kg当たり 一般農薬（毒劇含む） **500円**（税込）
不明農薬 **1,500円**（税込）

回収に関する取り決め事項【必ずお読み下さい】

- ◎必ず、**一般農薬（毒劇含む）**と**不明農薬**に仕分けをして、袋・容器のままダンボールに入れて搬入して下さい。（仕分けがなされていない場合は回収できません）
- ◎**持込みの際には産業廃棄物運搬車表示板が必要**です。
- ◎お申込みは、今月号に折込みしてある「委任状」を事前に提出して頂く必要があります。詳しくは、今月の折込みをご覧ください。

配達依頼受付方法の変更について

従来、PM2時までの受け付け分を、当日配送を行っておりましたが、6月より配送の集約により、一日に行う件数及び量を増やし迅速に配達を行うため、原則、当日配送を取りやめ、翌日以降の配送に切替えさせていただきます。

- 配達可能日……**土日祝日以外の平日**
- 受 付……**配達の前日までのAM8:00～PM5:00まで**

※突発の配達につきましても出来る限り対応いたしますが、予約配送を優先で行いますのでご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。



介護福祉課から

介護センター TEL 73-9635

「安心して住み続けられる地域づくり」に参加しませんか

みんなでやりましょうや 助け「^{あい}i」、支え「^{あい}愛」

参加費
無料

日時 2018年2月23日(金)

13:30 ~ 16:30 (12:30開場)

託児
あり

会場 縁結び交流館 出雲文化伝承館 (出雲市浜町520)

タイムテーブル

- 12:30 開場(ブース見学)
- 13:30 開会
開会あいさつ
- 13:35 地域での『助けあい・ささえあい』って何?
- 14:00 聴いて!私の思い(活動に参加している人の声)
- 14:30 休憩(ブース見学)
- 14:50 頼まれ上手?頼み上手?
『たすけあい』をゲームで体験しよう
- 15:10 みんなでワイワイティータイム
- 15:55 閉会あいさつ
- 16:00 閉会
(閉会後もブース見学はできます)

展示ブースの紹介

- 生活支援ボタン
- 夕食弁当宅配
- 健康チェック(骨密度、血圧、体脂肪など)
- 子育て(サークル・サポートなど)
- その他

連絡先 地域つながりセンター

〒690-0017 松江市西津田3-5-16 JAしまね津田支店2F

TEL 0852-67-3088 FAX 0852-67-6890

Email: shimanehatsutagaisama@akehosi.net

〈出雲地域の主催団体〉

出雲医療生協「有償ボランティア虹」、出雲市社会福祉協議会「たすけあいボランティア」、おたがいさまいずも、グリーンコープ「げんき隊」、生協しまね、ひかわ医療生協、JAしまね斐川地区本部

★参加をご希望の方は、介護福祉課までご連絡ください。

締切: 2月9日(金)

我が子自慢・孫自慢



おしゃべり大好き奈緒ちゃん!!
しゃべりだしたら止まらない!
元気にすくすく育ってね。

投稿者

出東地区 持田 稔さん



持田 奈緒ちゃん(3歳)

大募集!!

「我が子自慢・孫自慢」

あなたの撮った写真を掲載してみませんか?

プロ・アマ問いません。

応募先

JAしまね斐川地区本部 組織広報課

〒699-0593 出雲市斐川町荳原2172-3番地

☎73-9605 Eメール:kouhou.hik@ja-shimane.gr.jp

※写真にはコメント、住所、お名前、連絡先を付けて応募して下さい。



JA
女性部
通信

女性の元気でいきいきJA



*斐川町の特産で料理教室



うことが多いですが、かき揚げに使うのは初めてという方がほとんどでした。炭酸水を使うとサクサクに仕上がる事を教わり、皆さん家でも作ってみたいと話しておられました。盛り付けも、人参を型どったものを飾ったり、柚子を刻んでのせるだけでも見栄えがかわる事など、参考になる事がたくさんあり有意義な時間になりました。

12月27日に女性倶楽部ソレイユの第8回目の講義を行いました。今回は料理工房 創の周藤明美さんを講師に、斐川町の特産であるキャベツと白ねぎを使った料理を教わりました。白ねぎで作るかき揚げ、マリネ、肉巻きと海苔の代わりにキャベツで巻く寿司の4品を教わりました。普段白ねぎといえば鍋物や薬味に使用

JA
女性部
活動予定

新規加入 大歓迎!!
待っちゃよ~よ!

1月24日(水)	パッチワークグループ	別館料理教室	13:30~
1月25日(木)	書道グループ	伊波野支店会議室	9:30~
1月29日(月)	ひまわりグループ	別館料理教室	9:00~
2月 6日(火)	ちぎり絵グループ	別館料理教室	9:30~
2月14日(水)	いきいきグループ	生活課2階会議室	10:00~
2月15日(木)	手芸グループ	営農総合センター	9:00~

JAひかわ女性大学

JA HIKAWA Women College

参加者募集



興味のある方集まれ!! (各テーマとも定員あり)

健康教室
自分でできる乳がん自己チェック

日時：平成30年2月8日(木) 9:30~10:30
場所：JA営農総合センター
内容：乳がんの早期発見にとっても大切な、乳房の自己触診法を知っていただきます。
参加費：無料 申込み締切り/2月1日(木)

世界でひとつの作品作り
陶芸教室

日時：平成30年3月8日(木) 10:00~11:30
場所：出西窯 (出雲市斐川町出西3368)
内容：茶わんを作ってみましょう。
講師：出雲北山窯 山崎先生
参加費：2,000円 申込み締切り/2月20日(火)

* おおむね50歳までの女性を対象とさせていただきます。

* JAしまね斐川地区本部管内在住もしくは勤務されている方

詳しいお問合せ、申込みは、

組織広報課 (TEL 73-9605) まで



ガス川柳 入選作品発表!!

多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

平素はJ AしまねのLPガスを御利用いただきありがとうございます。

日常生活の中でガスと炎について感じた事などを川柳で募集したところ、非常に多くのご応募をいただき、誠にありがとうございました。約250通の応募の中から厳正な審査を行い、下記の通り入選作品が決定いたしましたのでお知らせします。



最優秀賞

- ガスがまの 新米おどる こがね色 清水 里美さん(くにびき)
- ガスで炊く 母の料理に 舌鼓 まりこさん(出雲)
- ガス風呂に 今日の疲れ 助けられ 佐々木 規美さん(島根おおち)



優秀賞 (斐川地区分のみ)

- J Aガス 歴史が保証 安全に 瀬崎 千年さん
- 雨の日も ガス乾燥機で ふかふかに 増原 博子さん
- ガスコンロ 3口それぞれ 役目あり 小春さん
- ガス器具の リースの価値は 35億!! 須田 治子さん
- 青い火で 子に教えるよ 火の強さ すみれさん

佳作 (斐川地区分のみ)

- 青い火が 二つ並んで 煮物待つ 江角 美代子さん
- ガスで炊く めっちゃおいしい 飯と汁 須田 一夫さん
- 母の声 ガスでトントン 朝が来る 福田 輝美さん
- ガス鍋を 笑顔で囲む 三世代 古川 シゲ子さん
- 秋風や ガス風呂に入り 日々感謝 高橋 常子さん
- 古米でも ガスで炊いたら アラ新米? こまちちゃんさん
- 音静か エネファームで 暖かい 高橋 春美さん

組織広報課から

TEL 73-9605

男の料理教室

出来る男子は厨房に入る。

定員
15名



魚をさばいて家族に
振舞ってみませんか？



内容：「魚のさばき方」を主に行います。

日時／2月9日(金) 18:00~20:00

場所／JAしまね 斐川地区本部別館
2階料理教室

講師／藤原魚店 藤原健一氏

参加費／¥300 (材料費込)

◆当日は、三角巾、エプロン、ご用意できる方は包丁
(出刃、刺身)をご持参ください。

お申し込み・お問い合わせは

JAしまね 斐川地区本部 組織広報課

TEL (0853) 73-9605

FAX (0853) 73-9623

Mail: kouhou.hik@ja-shimane.gr.jp

新料理教室の 名称を募集します。

JAしまね斐川地区本部は、別館1階に料理教室を3月に完成させる予定です。
そこで、新しい料理教室にふさわしい名称を、組合員、地域の皆様から下記の要項で募集いたしますので、ぜひ御応募ください。

募集
期間

平成30年

1月22日(月)~2月15日(木)

応募
方法

応募用紙を各支店、または
組織広報課までお持ちください。

※住所、氏名、連絡先、名称、名称理由
をご記入の上、FAX、メール、郵送で
の応募も可能です。

お申し込み・お問い合わせ

〒699-0593 出雲市斐川町莊原2172-3

JAしまね斐川地区本部
組織広報課

TEL : (0853) 73-9605

FAX : (0853) 73-9623

Mail : kouhou.hik@ja-shimane.gr.jp



副賞

名付け親大賞 (1名)

採用
作品

5000円相当の
商品券差し上げます!!

※採用の作品が応募多数の場合は、抽選
により1名様に記念品をお贈りします。

参加賞

はとむぎ製品
プレゼント!!

※応募いただいた方の中から抽選
で10名の方にお贈りします。

お申込みについて
は別添チラシを
ご覧ください

資金課から

TEL 73-9609

年金個別相談会のお知らせ

年金について疑問・質問はありませんか！

大切な年金です！これから年金をお受取りの方、すでに年金をお受取りの方是非ともお越し下さい。

- ☆私の年金はいつからもらえるの？
- ☆60歳以降も仕事を続けるが、年金はどうなるのか？
- ☆年金額は増やすことができるの？
- ☆加給年金ってなに？もらえるのはどんなとき？
- ☆障害年金・遺族年金について聞いてみたい など

ご持参いただきたいもの

- ねんきん定期便
- 年金請求書
※日本年金機構から送付された方
- 年金手帳(ご本人、配偶者)
- 年金証書(ご本人、配偶者)
※すでに受給しておられる方
- 雇用保険被保険者証
- 印鑑
- 厚生年金基金加入員証
※加入したことがある方

日時場所 平成30年2月6日(火)

13:30~16:00 出東支店

17:00~19:00 斐川地区本部営農総合センター

お問い合わせ・ご予約先 資金課 TEL 73-9609



当日はセミナー形式ではなく、個別相談形式で行っています。ご予約をいただきますとご希望の時間帯にて相談をお受けできます。またJAでお取引のない方もぜひお越しください、当日はささやかなプレゼントをご用意しております。

企画管理課から

TEL 73-9607

おさいふカードを持つとこんなにもお得！

おさいふカード講座



JALしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

優待割引のお知らせ

JALしまね×洋服の青山・はるやま



店内全商品 割引後価格から更に

10%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗

〈洋服の青山〉松江店・島根斐川店・出雲浜山通店・浜田店・益田店・米子本店・三次店

〈はるやま〉松江店・島根三刀屋店・出雲店・島根大田店・浜田店・益田店・米子店・三次店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。 ※洋服の青山ではAoyamaタイプアップカード入会(入会無料)が必要となります。

グリーンセンターから

TEL 73-9070

野菜等出荷者協議会新規会員説明会

とき 平成30年1月30日(火)14:00~

ところ JA斐川地区本部 営農総合センター

内容 ・出荷者協議会の会員になるためには
・活動内容についての説明

※会員資格は男女問いません



ご自宅でできた自慢の野菜・花・果物などを、自分のペースで出したい時に出しながら、仲間と楽しく元気に活動しています!

1/12~3/13までリニューアル工事のため
仮店舗での営業となります。
期間中の営業時間は9:00~17:30です。

総務課から

TEL 73-9603

斐川地区本部運営委員会情報 12月8日開催

斐川地区本部役員会情報 12月22日開催

報告事項

- (1) 平成29年産米販売進捗について
- (2) ライフサポート24の状況について
- (3) 貯金・貸出金実績について(平成29年11月末)
- (4) 斐川地区本部主要実績一覧表について(平成29年10月)
- (5) 斐川地区本部業績還元について
- (6) 斐川地区本部運営委員会視察研修について
- (7) JAまつり実績報告について

(1) 協議事項

- ① JAしまね福祉事業に関する運営規程の一部改正について
- (2) 報告事項
 - ① 今週の金利について
 - ② 主要実績一覧(平成29年11月末)について
 - ③ 役員レビューによる実績報告について
 - ④ 地区別総代・JA協力員合同会の意見・要望等について
 - ⑤ JAしまね各専門委員会の報告について

自動車工場から

今月の特選車

TEL 73-9627

スバル サンバーバン

初度登録 H21年9月
走行キロ 29,290km
車体色 シルバー
ミッション AT
2WD エアコン パワステ
CDチューナー



車検整備付

車両本体価格 **756,000**円(税込)(諸費用別)

担当 山根、中浜、古瀬

タテのカギ



- ⑧ 友人の結婚をみんなで——した
- ⑨ 魚の下ごしらえの際に取ることも
- ⑩ 将棋に似た西洋のゲーム
- ⑪ 五輪で1位の選手がもらうメダルの色
- ⑫ 温めた豆乳から引き上げます
- ⑬ アルバイトの面接を受ける際、書いて持っていくことも
- ⑭ ドストエフスキーの著書『——と罰』
- ⑮ 寒い日にはポツと赤くなる人も
- ⑯ ボルトと組み合わせて使います
- ⑰ セーフの対義語
- ⑱ 模試では合格の——が80%だった

ヨコのカギ



- ① 2018年の——五輪は平昌で行われます
- ② 力士が踏むもの
- ③ ツルのものは長く、カモのものは平たい
- ④ 尺八やフルートはこの仲間
- ⑤ 医師に処方してもらうものの一つ
- ⑥ ずいぶんと——が飛躍しているなあ
- ⑦ 銀世界を眺めて楽しむこと
- ⑧ 日本——が寒波に覆われた
- ⑨ スマホで明日の天気——を調べた
- ⑩ 漢字で書くと最中。あんの入った和菓子です
- ⑪ 桃太郎の場合は犬・猿・キジ
- ⑫ 鬼の頭に生えています
- ⑬ バレンタインの本命チョコに込めます

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	9		14	18	21
		E				
	7		11		19	
2			12	15		
		10				
			B			
3	8				20	
4			13	16		
5				17		D

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒699-0593 出雲市斐川町荘原2172-3
JAしまね 斐川地区本部 組織広報課「クイズ」係
平成30年2月5日(月)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆ 「フクブクロ」

ナ	ク	サ	フ	シ
マ	ス	イ	ハ	ン
エ	ト	ド	ン	シ
	ホ	シ	ブ	ド
マ	オ	レ	エ	ミ
ス	ト	リ	ト	ゾ
イ	ロ	キ	ク	ズ

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

正しい手洗い 出来ていますか？

風邪やインフルエンザを予防しましょう。

まだまだ寒い日が続きますが、手洗いをしっかりと

- ① まず、腕時計やアクセサリなどは外しましょう。
- ② 流水で手を洗い、石けんを適量手に取って両手でよく泡立てます。
- ③ 手のひら全体をこすり合わせ、泡を伸ばします。
- ④ 手の甲をもう片方の手のひらで、こするようにして洗います。
- ⑤ 両手の指と指を組むようにして、指の間をもみ洗います。
- ⑥ 親指をもう片方の手のひらで包み込み、軽く回転させて洗います。
- ⑦ 指先で、もう片方の手のひらを引っ掻くように動かして洗います。
- ⑧ 手首を反対の手のひらで軽く握り、回転させて洗います。
- ⑨ 15秒程度流水で、泡を完全に洗い流します。
- ⑩ 最後に、清潔なタオルやペーパータオルなどで水分をよく拭き取り、しっかりと乾かしましょう。

★手洗いをするときには、次の手順でしっかりと洗うようにしましょう★

風邪やインフルエンザの予防のために、帰宅時や食事の前など手洗いをすることが習慣になっている方も多いと思いますが、なぜか毎年、風邪やインフルエンザは流行ってしまいますよね。風邪やインフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは、「手」を介して体内に侵入することが多いと言われています。洗い残しのないような手洗い、みなさんは出来ていますか？

普段、私たちが触れるドアノブや手すりなど様々な場所に、目には見えない細菌やウイルスなどが付着しています。そういった場所を触った手で、自分の眼や鼻、口を触ったりすることで体内に侵入し、それが感染拡大のきっかけとなるのです。様々な感染症から身を守るためには、手からの侵入を遮断する「手洗い」がとても大切になります。

得々プラン

やっぱり玉泉

2018.1/4(木)~3/16(金) 除外日:土曜日、休前日

2名様~14名様 限定
1日5組 限定

お1人様/1泊2食付 一室3名様~
お1人様/1泊2食付 一室2名様

12,000円(税込) 14,000円(税込)

●夕食会場の個室指定は、1名様1,080円(税込)増し
●ご宿泊前日迄お受けいたします

さらにもう一品
得々プラン 限定 別注料理
※事前お申込み専用別注料理でございます。ご予約時にお申し付け下さい。

通常価格/ スワイ蟹一杯 3,780円
しまね和牛ステーキ(100g) 3,240円

それぞれ 特別価格 1,080円(税込)

ズワイ蟹一杯
しまね和牛ステーキ(100g)

お申し込みはお近くの【JAしまね】旅行センターへ

旅行センター本部 出雲市斐川町直江5030番地	0853-25-8907	斐川旅行センター 出雲市斐川町莊原2172番地3	0853-73-9625
くにびき旅行センター 松江市西川津町1635番地1	0852-55-3041	石見銀山旅行センター 大田市長久町長久ハ56番地1	0854-82-3501
やすぎ旅行センター 安来市下坂田町1075番地1	0854-28-6699	島根おおち旅行センター 邑智郡邑南町下田所277番地	0855-83-0008
雲南旅行センター 雲南市木次町里方1088番地6	0854-42-9118	いわみ中央旅行センター 浜田市黒川町3741番地	0855-22-8820
出雲旅行センター 出雲市今市町87番地	0853-21-3305	西いわみ旅行センター 益田市駅前町15番地1	0856-22-8587

●表記料金は消費税込・入湯税別途150円かかります。
●お部屋のタイプと、ご夕食会場はホテル側おまかせとなります。

ホテル玉泉利用割引
-JA共済保養施設利用割引- がご利用頂けます。

利用対象/本県JA共済加入者、組合員およびその家族
割引金額/宿泊 2,000円 休憩 1,000円
※一人当たりの利用金額が3,500円以上の場合適用致します。

曲水の庭
出雲・玉造温泉
政府登録国際観光旅館(登録第880号)
島根県松江市玉湯町玉造 53-2
TEL.0852-62-0021(代)
http://www.hotel-gyokusen.co.jp

電話受付時間
平日 9:00~19:00
土日祝 10:00~19:00

国民年金の第1号被保険者の皆様へ 国民年金基金に入りませんか!



国民年金基金とは

老後に受け取れる国民年金(老齢基礎年金)はご夫婦で月に約13万円。

しかし、高齢者世帯は、月約27万円かかると言われています。

この不足分を補うものとして、サラリーマンなどの人(第2号被保険者)には厚生年金がプラスされますが、自営業などの人(第1号被保険者)はご自身で上乗せしなければいけません。そこで、用意されている公的な個人年金が国民年金基金です。

加入できる人は?

20歳以上60歳未満の国民年金保険料を納付している国民年金の第1号被保険者の方および日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方が加入できます。

年金の給付は?

年金額の加入口数、年金受取期間は給付の型によって決まります。

毎月の掛金は?

掛金は加入時の年齢、性別、選択する給付の型と口数によって決まります。

問い合わせ先

島根県国民年金基金

0120-654192

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター5階 http://kokuki-shimane.or.jp/

しまねうれしぴ

料理研究家 土井小百合

ごまめのマリネ



お正月のごまめアレンジです。ごまめが、子ども大人も好きなマリネになります。沢山の野菜も一緒に食べられるおいしいマリネです。食材はすべてサツと揚げるのがポイントです。

●材料 (4人分)

ごまめ……………	30g	酢……………	大さじ4
〔玉葱……………	1/2個	砂糖……………	大さじ2
塩……………	小さじ1/3	塩……………	小さじ1
きゅうり……………	1/2本	オリーブ油……………	大さじ2
さつま芋……………	小1個		

●作り方

- ①玉葱は塩をふって2～3分おき、水に3分ぐらいつけて流水で洗いき水を絞る。
- ②バットに酢、砂糖、塩、オリーブ油を入れ混ぜて①を入れる。
- ③さつま芋は細切りにし、水にさらしてアクをとり、ザルにあげ水をふき取る。
- ④油を180℃に熱し、ごまめをさつと素揚げし、さつま芋を素揚げし熱いうちに②に浸けて味をなじませる。
- ⑤千切りきゅうりを混ぜる。

余ってる黒豆の煮物を使い 赤ワインで黒豆のおこわ



お正月に沢山煮た黒豆を使い作るおこわです。甘い煮豆を使うのでお砂糖は入れません。沢山食べて今年も「まめ」に過ごしたいですね。

●材料 (4～5人分)

煮豆 (黒豆) ……	100g	赤ワイン……………	大さじ4
もち米……………	1合	水…………赤ワインと合わせて	2合
うるち米……………	1合	塩……………	小さじ1/3
しめじ……………	1/4袋		

●作り方

- ①もち米、うるち米は洗い、ざるにあげて1時間おく。
- ②①を炊飯器に入れ、赤ワインと水、塩を入れる。
- ③汁気を切った黒豆の甘煮としめじを入れ普通に炊く。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、雪化粧の松江城。城下町松江のシンボルで、「千鳥城」とも呼ばれています。全国で現存する12天守の一つで、山陰地方で唯一の現存する天守閣であり、平成27年7月に国宝に指定されました。また、城山公園は「日本さくら名所100選」に選ばれており、島根県を代表する観光地の一つとして、全国各地から観光客が訪れています。

組合員・利用者の皆様へ (お詫び)

このたびJAしまねにおいて、臨時職員による給油カードの不正利用がありました。(JA店舗用の給油カードを自分の車のガソリン給油に使用。被害総額65,801円。全額返済済み。) 今後、係る事態を引き起こさないために、なお一層の法令遵守(コンプライアンス)の徹底を図ってまいります。農業協同組合としての果たすべき役割と使命を深く認識し、綱紀粛正を図り、信頼回復に向け役員一丸となり、新たな決意のもと、誠心誠意業務に取り組む所存であります。

平成30年1月
島根県農業協同組合
代表理事組合長 竹下 正幸

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

